

図書館だより

平成27年4月号 NO. 309

〒319-1542 茨城県北茨城市磯原町本町 1-4-2

電話 0293(42)1451 北茨城市立図書館

開館時間

★火・水・土・日曜日・祝日 : 午前9時30分～午後5時
★木・金曜日 : 午前9時30分～午後6時
※月曜開館の場合 : 午前9時30分～午後5時



《 図書館カレンダー 》

2015年 4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■ 印は休館日です

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

4月 春ですよ～

桜と菜の花のコントラストがきれいな季節になりました。

図書館も新メンバーが加わり、平成27年度がスタートしました。新図書館の建設も着々と進んでおります。来年の今頃には新図書館が完成し引越しがはじまる頃かも知れません。

ところで、平成26年度もたくさんの方々にご利用いただきました。その中で、小学校の生活科や社会科見学・中学校や高等学校は職場体験などで図書館を活用いただきました。年々活用してくださる団体も増加傾向にあります。

平成27年度もたくさんの方々にご利用いただけるように、職員一同がんばってまいります。



平成27年2月19日(木)平成26年度最後の訪問者は、平潟小学校1年生22名が生活科の授業で、図書館を訪れました。この日は一人一人から質問を受け、その後思い思いの場所で読書を楽しみました。

4月からは2年生になっていますね。また図書館に遊びに来てください。



YABOOK



『そして生活はつづく』



一般書 914.6ホ 星野 源【著】 文春文庫

俳優、ミュージシャン、文筆家、優しい歌声と無邪気な子供がそのまま大きくなったような「ポア〜ン」としたあの笑顔がステキな星野源。そんな彼に癒される女子も多いのではないのでしょうか？

そんな星野源の日常生活とは・・・いつもダメダメで、変な事が気になって、それでもってとっても真面目で、いつも腹いた、そんなダメっぷりな日常が綴ってあります。思わず声を出して笑ってしまうエピソードの数々。それでいて深い事を言ったり、心に響く言葉を言ったり。母である「美人のようこちゃん」の「子育てはつづく」のエピソードでは「だって、学校行って帰ってくるたびに源の顔が暗くなっていくんだもん。だからせめて・・・」そのセリフと愛情溢れる子育てにぐ〜っときて、大好きだった「おじいちゃん はつづく」では、とにかく生きたいと思ったと言うエピソードにじ〜んときて。

感性豊かで、多才な星野源の初エッセイ集。気軽に手に取れ、ちょっとした合間に読める面白い文庫本です。突然の病に倒れ復活した3年間を綴った「蘇る変態」も好評です。応援したくなりますね。

by 蘭々



日立ブーケライオンズから寄贈がありました。

平成27年3月15日(日)日立ブーケライオンズクラブ10周年記念事業で、図書館に児童図書9セット「おやすみゴリラくん」他75冊が寄贈されました。

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



◇『最初の舞踏会』ホラー短編集 3◇

児童書 953サ 平岡 敦 // 編 岩波書店



岩波少年文庫のホラー短編集第3弾。今回はフランス編です。ペローの「青ひげ」からはじまり、壁をぬけられる不思議な能力を持った男の話、エーメの「壁抜け男」。その他読み終わったあとに、ちょっと考えさせられる…という余韻を残すホラー作品集。

★ホラー大好きなのですが、久しぶりに品格があるというか、ひねりのきいた恐さというか、「こういうのがフランス文学なのかなあ…」と、面白かった一冊です。読書力のある中学生におススメ…かな。

b y ビクトリア

◇おもちのおふろ◇

児童書 Eウ 荻田 澄子 // 作 学研教育出版



ある寒い日、おもちの もーちゃんと ちーちゃんは、お風呂屋『ぽかぽかの湯』へ出かけました。そこには、いろいろな種類のお風呂があります。早速、入浴料の10円を払うと「しょうゆの足湯」「きなこの砂風呂」そして「トースターのサウナ」へ…。

でも、どのお風呂へ行っても、ちっともゆっくりできません。困った2人は、仕方なく最後のお風呂場へ移動しました。扉をそうっと開けてみると、そこには――。

b y 和

◇高崎山のベンツ◇

児童書 489エ 江口 絵理 // 著 ポプラ社



野生のニホンザル千匹以上が暮らす、サルの王国・高崎山。この高崎山で、いくつもの記録をぬりかえ、伝説になった一匹のサルがいた。2013年12月、ベンツが山に姿を消すまでの波乱の一生を追ったノンフィクション。

野生のサルの世界がこの1冊で詳しくなるかも…。人間の世界より凄い！！
読んだらサルの見方が変わると思います。

b y ドラ

◇幸せ嫌い◇

一般書 913.6タ 平安寿子 // 著 集英社



合コン三昧だった20代。そこそこモテて、このまま普通に結婚できるものだと思っていた麻子は、気がつけばまさかの30代！自分よりぼんやりしていたあの子ども、自分ほどモテなかったあの子ども、いつも一緒に遊んでいたあの子ども、気がつけば周りはずでに結婚していた！！

実家暮らし、未婚の30歳。崖っぷちの麻子は、理想の相手をゲットするため、風変わりな結婚相談所で働く事となるが……。

b y ぶにこ

◇おいぬさま◇

児童書 E 荒戸 里也子//著 白泉社



お殿さまの飼う、それはそれは巨大な「おいぬさま」に臣下たちはおおわらわ! 「おいぬさま」が巻き起こす、奇想天外・珍騒動絵巻。

好き勝手やりたい放題のおいぬさまですが、著者の独特な語り口とユーモラスな絵でなんだか憎めません。

表情、行動など、どこかうちの犬に似ているような・・・

b y ポチ

◇九年前の祈り◇

一般書 913.6 才 小野 正嗣//著 講談社



35 歳になるシングルマザーのさなえは、幼い息子をつれて、海辺の小さな集落に戻ってきた。息子を持って余しながら、さなえが懐かしく思い出したのは、9 年前の「みっちゃん姉」の言葉だった…。

表題作など全 4 作を収録していますが、特に「九年前の祈り」が心に残りました。大分県の訛りが心地よく、田舎の海辺の街が目目に浮かび、もっと続きが読みたくなるほど作品に引き込まれました。

b y マリア

図書館員のひとりごと

いよいよ四月、新しいスタートの季節ですね。

社会人になってしまうと、学生のころと比べて変化を実感する機会が少ないのですが、それでも電車などで初々しい新入生や新社会人の方々を見かけると、大きなお世話かもしれませんが、つつい心の中で応援したくなってしまいます。

さて、市立図書館の工事も徐々に本格化してきております。市内でも近年にない大型施設の建設となりますので、仕事も日々手探りの状態です。最初は考えてもいなかったようなちよつとしたトラブルなどは日常茶飯事で、思わず苦笑いしてしまうこともしばしば。

しかしながら、新しい図書館を作り上げるという貴重な経験をさせていただいてますので、困難も楽しんで乗り越えていけたらいいな、と思っています。

完成まであと約 1 年、工事中は皆様にご不便・ご迷惑をおかけすることとなってしまいますが、地域の皆様に愛される図書館づくりができるように、職員一同知恵を出し合いながら頑張っていきますので、ご協力をお願いいたします。



浄化槽の埋め込み作業中です。

ます。

利用者の皆様も、新しい図書館に期待すること、こんなことをやってみたらどうだろう、というご提案などがございましたら、どんどんおっしゃってくださいね。

b y シロ